

## 県内自動車部品メーカーのEVシフト対応状況に向けた取り組み ～岐阜県補助事業「EVシフト対応に関するアンケート調査結果」より～

世界的なカーボンニュートラル達成に向けた流れの中で、国も「2035年ガソリン車の新車販売禁止」の方針を打ち出し、今後、大手自動車メーカーをけん引役に、EVシフト（自動車の電動化の動き）の加速が予想されます。

特に中小規模の自動車関連部品・加工事業者が多く所在する岐阜県においては、円滑なEVシフト対応が重要な課題となってきます。

そこで今年度、岐阜県中央会では岐阜県の補助事業「自動車産業EV化対応事業」を実施し、その一環として、県内の中小自動車部品・加工事業者を対象にEVシフトの動きに対する経営動向調査を実施しましたので、調査結果を公表させていただきます。

（調査結果の概要は以下、別添のとおり）

現在、岐阜県中央会は相談窓口（EVアドバイザー）を設置し、EV車向け部品製造等への助言や事業再構築への相談対応の他、具体的なEV化対応計画の策定を支援しております。お気軽にご相談ください。

- 約6割の経営者が「予測よりも早く／概ね予定どおりEVシフトが進む」と予測。
- EV化により「マイナス影響」を受けると回答する事業者は約6割。「既に影響がある」と回答する企業は約2割存在。
- 「危機感」を感じている事業者は36.7%。  
エンジン関連部品を製造する事業者（特に鋳造（鋳物、ダイカスト））の回答割合が高い。
- 「チャンス」と捉えている事業者は25%。  
プラスチック部品・電装品・電子部品を製造する事業者の回答割合が高い。
- 現在行っている対策は、「EV化（自動車メーカーのニーズ）に関する情報入手」が最も多い。「何も行っていない／行う予定なし」の事業者は約3割。
- 今後の戦略については、「他分野進出（自動車関連以外）」が半数超を占め、「産業機械・建設機械」や「健康・医療」などへの進出意向が強い。
- 戦略達成に向けた一番の課題は「人材確保・育成」。

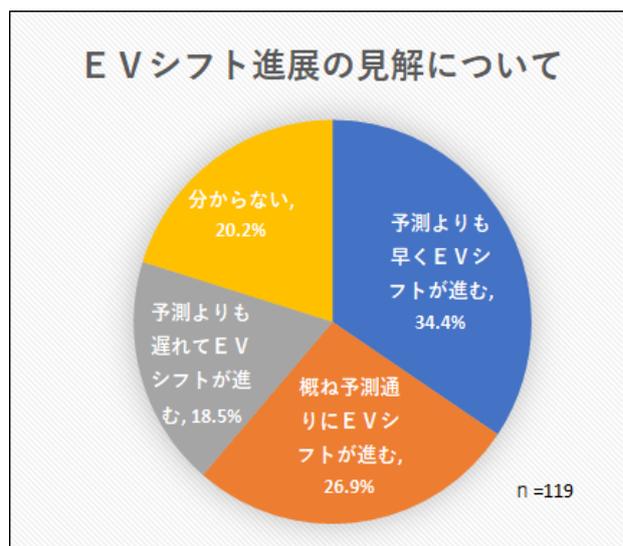
### 【調査概要】

- ◆調査対象： 岐阜県内に本社・事業所を置く自動車関連部材製造を行う中小企業 366社
- ◆有効回答数： 126者（有効回答率 34.4%）
- ◆調査期間： 令和4年4月15日～5月13日 ※調査時点 4月15日
- ◆回答企業属性  
従業員規模：29人以下 42.8%、30人～99人 33.4%、100人以上 23.8%  
分野別（複数回答）：エンジン関連 45.7%、電装品・電子部品 36.4%、車体部品 36.4%、その他 31.8%  
技術分野（複数回答）：機械加工 43.5%、プレス加工 30.6%、プラスチック成形・加工 16.9%  
鋳物（鋳造・ダイカスト） 8.9%、設計 10.5%、その他 29.0%

■約6割の経営者が「予測よりも早く／概ね予定どおりEVシフトが進む」と予測。

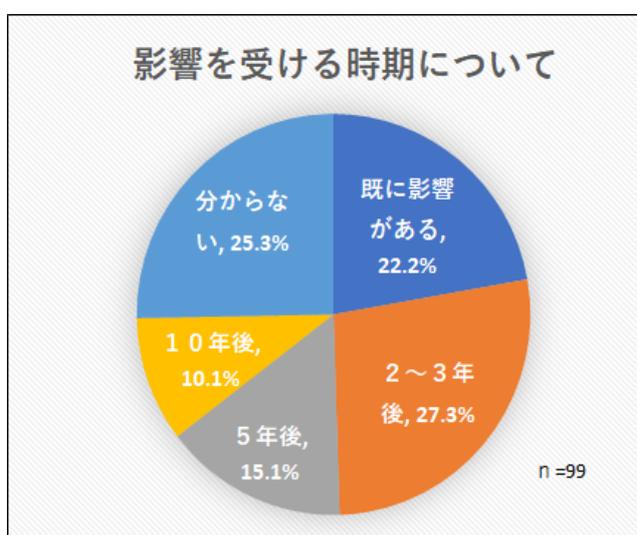
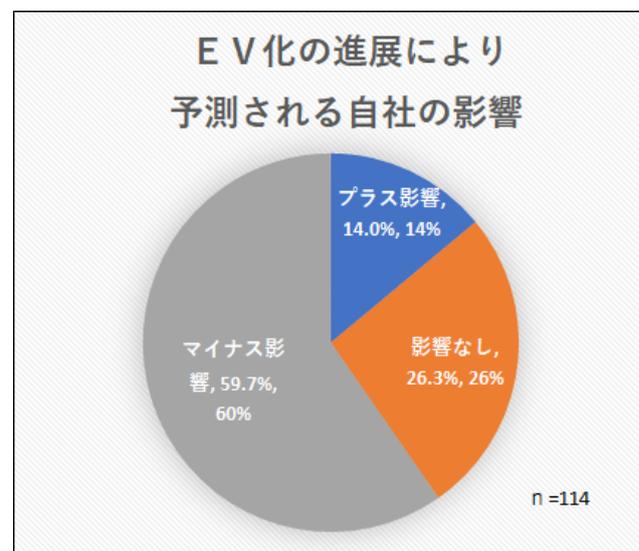
これからのEVシフトの進展について見解を尋ねたところ、最も多かった回答が、「予想より早くEVシフトが進む」(34.4%)であり、次いで「概ね予想どおりEVシフトが進む」(26.9%)であった。

回答した約6割の企業が「EVシフトが予定どおり／早く進む」と回答している。



■EV化により「マイナス影響」を受けると回答する事業者は約6割。「既に影響がある」と回答する企業も約2割存在。

EVシフトに伴い、自社の影響に尋ねたところ、回答者の約6割の企業が「マイナス影響」(59.7%)と受けると予測している。



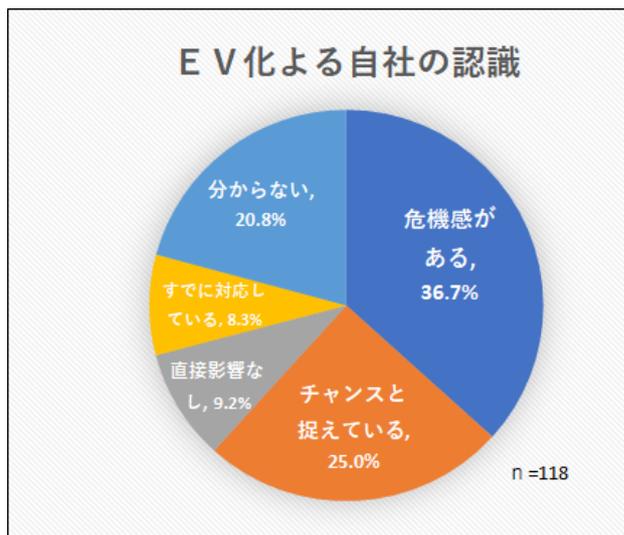
「影響（プラス、マイナス）を受けると回答した企業に対して、その影響を受ける時期について尋ねたところ、最も多かった回答が「2～3年後」(27.3%)であった。

「既に影響がある」(22.2%)も含めると、約半数の企業が3年後までにはEV化の影響を受けると回答している。

- 「危機感」を感じている事業者は36.7%。  
「チャンス」と捉えている事業者は25.0%。

EV化の進展に対する自社の認識について尋ねたところ、最も多かった回答が「危機感がある」(36.7%)あり、次いで「チャンスと捉えている」(25.0%)となっている。

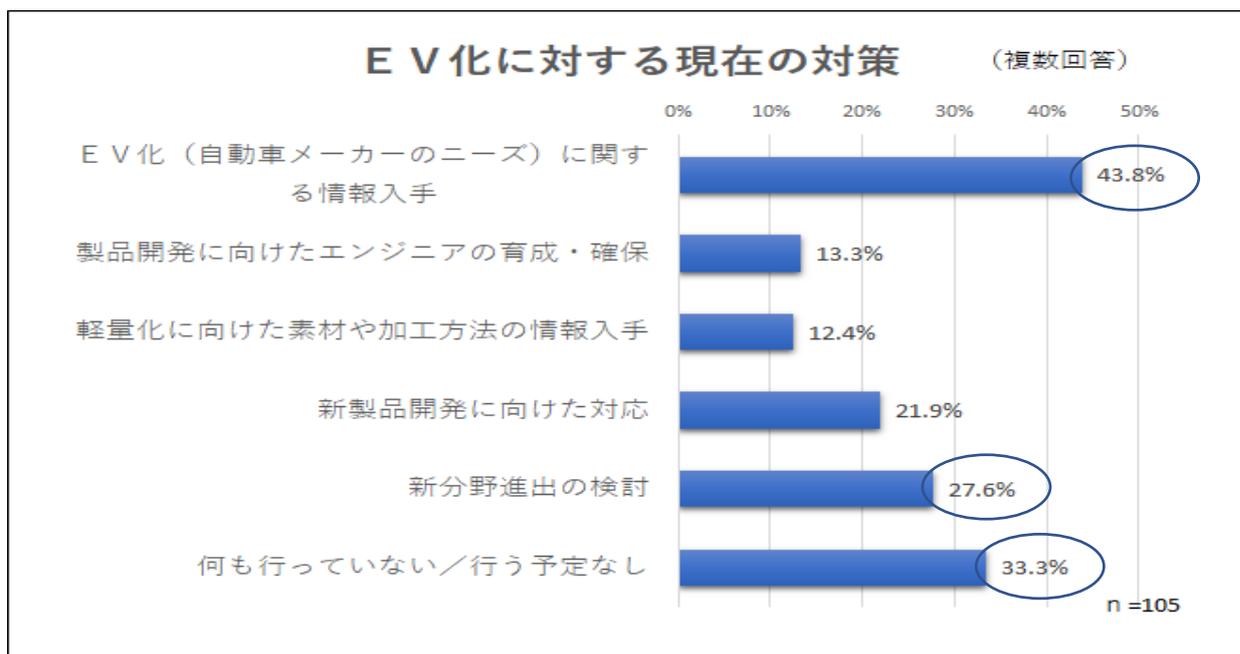
技術分野別で見ると、「危機感がある」の回答割合が高いのは鋳造（鋳物、ダイカスト等）で、「チャンスと捉えている」、「すでに対応している」はプラスチック成形・加工となっている。



- 現在行っている対策は、「EV化（自動車メーカーのニーズ）に関する情報入手」が最も多い。「何も行っていない／行う予定なし」の事業者は約3割。

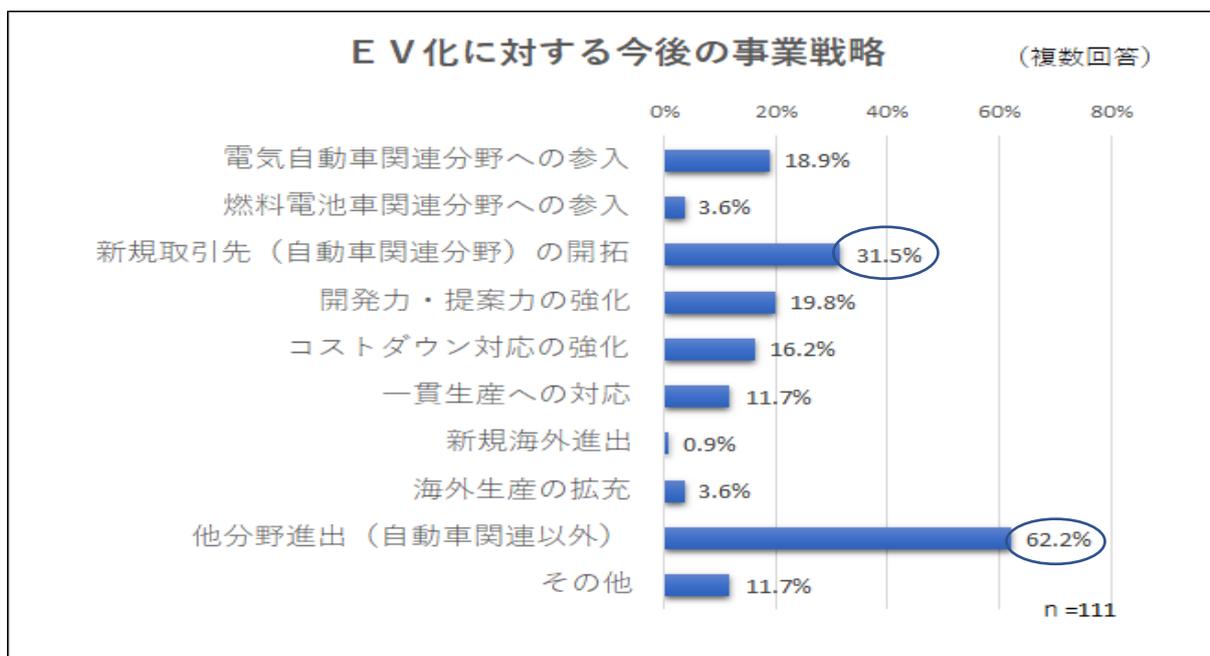
現在、EV化に向けた対策について尋ねたところ、最も多かった回答が「EV化（自動車メーカーのニーズ）に関する情報入手」(43.8%)であり、次いで「何も行っていない／行う予定なし」(33.3%)、「新分野進出の検討」(27.6%)の順となっている。

技術分野別を見ると、「EV化（自動車メーカーのニーズ）に関する情報入手」では製缶鋁金加工を除く、多くの技術分野で回答割合が高い。なお、「新分野進出の検討」では機械加工と鋳造（鋳物、ダイカスト等）、「何も行っていない／行う予定なし」はプラスチック成形・加工と製缶鋁金加工の回答割合が高い。



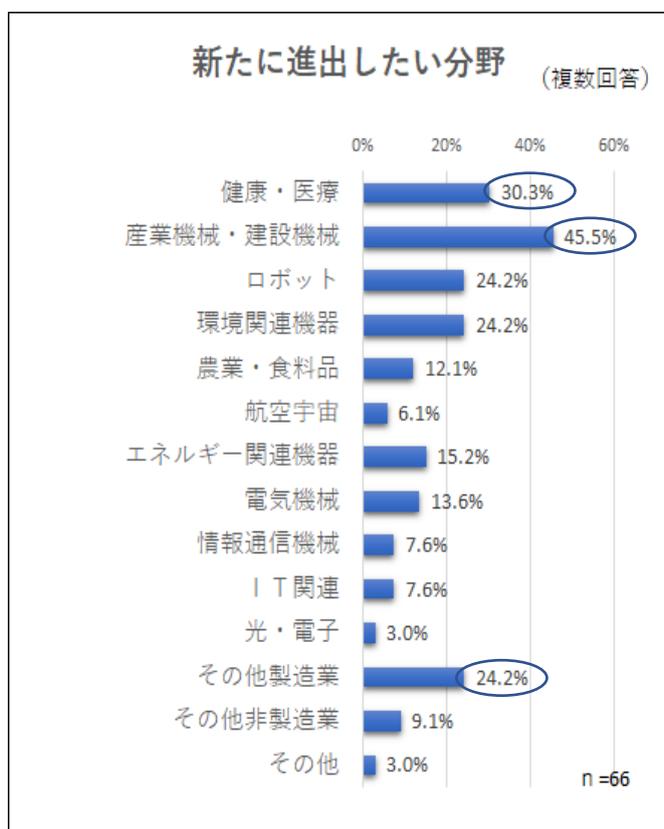
■今後の戦略については、「他分野進出（自動車関連以外）」が半数超を占め、「産業機械・建設機械」や「健康・医療」などへの進出意向が強い。

EV化に対する自社の事業戦略について尋ねたところ、最も多かった回答が「他分野進出（自動車関連以外）」（62.2%）であり、次いで「新規取引先（自動車関連分野）の開拓」（31.5%）となっている。技術分野別で見ると、「電気自動車関連分野の参入」はプラスチック成形・加工、「他分野進出（自動車関連以外）」は、技術分野に関係なく回答割合が高い。



他分野進出（自動車関連以外）」と回答した企業に対して、新たに進出したい分野について尋ねたところ、最も多かった回答が「産業機械・建設機械」（45.5%）であり、次いで「健康・医療」（30.3%）、「その他の製造業」（24.2%）の順となっている。

技術分野別で見ると、「産業機械・建設機械」は、機械加工、プレス加工、製缶鋁金加工、「健康・医療」ではプレス成型・加工と基板加工の回答割合が高い。



■戦略達成に向けた一番の課題は「人材確保・育成」。

事業戦略達成に向けて、課題となっていることを尋ねたところ、最も多かった回答が「人材育成」(39.2%)であり、次いで「販路開拓」(32.3%)の順となっている。

技術分野別で見ると、「人材育成」は機械加工、プレス加工、鋳造(鋳物、ダイカスト等)、「販路開拓」はプラスチック成形・加工と製缶鋁金加工の回答割合が高い。

